

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公開番号】特開2008-257688(P2008-257688A)

【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2008-042

【出願番号】特願2008-9542(P2008-9542)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 F 17/21 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 310 A

G 06 F 17/21 570 N

G 06 F 17/21 570 R

G 06 F 17/30 340 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月18日(2011.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ファイルまたはフォルダに対して行うべき処理の選択を操作者から受け付け、前記選択を受け付けた処理を前記ファイルまたはフォルダに対して実行する実行手段を有する装置であって、

操作者から処理の選択を受け付けると、当該処理が前記実行手段において過去に実行されたファイルまたはフォルダを検索する検索手段と、

前記検索手段で検索されたファイルまたはフォルダの識別情報を表示画面に表示する操作対象表示手段とを備えることを特徴とする装置。

【請求項2】

ファイルまたはフォルダに対して行うべき処理の選択を操作者から受け付け、前記選択を受け付けた処理を前記ファイルまたはフォルダに対して実行する実行手段を有する装置であって、

前記実行手段で実行した処理の識別情報を、当該処理の実行されたファイルまたはフォルダの識別情報をと並べて表示手段に表示する操作履歴表示手段と、

前記操作履歴表示手段で前記処理の実行されたファイルまたはフォルダの識別情報を並べて表示された処理の識別情報の選択を操作者から受け付けると、当該処理が前記実行手段において過去に実行されたファイルまたはフォルダを検索する検索手段と、

前記検索手段で検索されたファイルまたはフォルダの識別情報を表示画面に表示する操作対象表示手段とを備えることを特徴とする装置。

【請求項3】

前記操作対象表示手段は、前記処理が前記実行手段において過去に実行されたファイルまたはフォルダの識別情報を、前記処理が前記実行手段において実行された日時の順に並べたりストを表示画面に表示することを特徴とする請求項2に記載の装置。

【請求項4】

前記操作対象表示手段は、前記処理が前記実行手段において過去に実行されたファイル

またはフォルダのうち、前記処理と並んで前記表示手段に表示されている識別情報に示されるファイルまたはフォルダより以前に前記処理が前記実行手段において実行されたファイル又はフォルダの識別情報が並んだリストを表示画面に表示することを特徴とする請求項3に記載の装置。

【請求項5】

前記操作対象表示手段は、前記処理が前記実行手段において過去に実行されたファイルまたはフォルダのうち、前記処理と並んで前記表示手段に表示されている識別情報に示されるファイルまたはフォルダの付近のファイル又はフォルダの識別情報が並んだリストを表示画面に表示することを特徴とする請求項3に記載の装置。

【請求項6】

ファイルまたはフォルダに対して行うべき処理の選択を操作者から受け付け、前記選択を受け付けた処理を前記ファイルまたはフォルダに対して実行する実行ステップを有する方法であって、

操作者から処理の選択を受け付けると、当該処理が前記実行ステップにおいて過去に実行されたファイルまたはフォルダを検索する検索ステップと、
前記検索ステップで検索されたファイルまたはフォルダの識別情報を表示画面に表示する操作対象表示ステップとを備えることを特徴とする方法。

【請求項7】

ファイルまたはフォルダに対して行うべき処理の選択を操作者から受け付け、前記選択を受け付けた処理を前記ファイルまたはフォルダに対して実行する実行ステップを有する方法であって、

前記実行ステップで実行した処理の識別情報と、当該処理の実行されたファイルまたはフォルダの識別情報とを並べて表示ステップにより表示する操作履歴表示ステップと、

前記操作履歴表示ステップで前記処理の実行されたファイルまたはフォルダの識別情報と並べて表示された処理の識別情報の選択を操作者から受け付けると、当該処理が前記実行ステップにおいて過去に実行されたファイルまたはフォルダを検索する検索ステップと、

前記検索ステップで検索されたファイルまたはフォルダの識別情報を表示画面に表示する操作対象表示ステップとを備えることを特徴とする方法。

【請求項8】

前記操作対象表示ステップは、前記処理が前記実行ステップにおいて過去に実行されたファイルまたはフォルダの識別情報を、前記処理が前記実行ステップにおいて実行された日時の順に並べたリストを表示画面に表示することを特徴とする請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記操作対象表示ステップは、前記処理が前記実行ステップにおいて過去に実行されたファイルまたはフォルダのうち、前記処理と並んで前記表示ステップにより表示されている識別情報に示されるファイルまたはフォルダより以前に前記処理が前記実行ステップにおいて実行されたファイル又はフォルダの識別情報が並んだリストを表示画面に表示することを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記操作対象表示ステップは、前記処理が前記実行ステップにおいて過去に実行されたファイルまたはフォルダのうち、前記処理と並んで前記表示ステップにより表示されている識別情報に示されるファイルまたはフォルダの付近のファイル又はフォルダの識別情報が並んだリストを表示画面に表示することを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項11】

請求項6ないし10のいずれかに記載の方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。